

唐丹片岸地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

記

- 日時 平成 25 年 8 月 3 日（土）18 時 30 分～20 時 30 分
- 場所 片川集会所
- 次第

1. 釜石市長 野田武則あいさつ

2. 最新の土地利用計画について

- ・ 復興公営住宅は、D仮設の横に戸建タイプを建設予定
- ・ 今後のスケジュールについて

3. 災害危険区域の設定について

- ・ 対象区域の設定方法（津波浸水シミュレーションにより浸水が想定された区域）と規制の対象についての説明
- ・ 災害危険区域の範囲について（唐丹片岸地区は第一種区域に指定）

4. 住宅再建支援制度について

- ・ 現在の自力再建支援制度について
- ・ 国から追加で分配された基金を活用した、新たな支援制度（釜石市単独被災者住宅再建支援事業補助金、釜石産木材活用住宅推進事業）について

5. 意見交換について

災害危険区域は、防潮堤を 14.5m まで嵩上げた後のものか。

→ その通りです。

被災地買い上げについて音沙汰がない。見通しを教えて欲しい。

→ 移転先の土地については、今月から交渉を始める予定です。移転元の土地については 9 月頃に行いたいと考えています。

買い上げ時期が 9 月とあったが、終わるのはいつか。

→ 地権者の方々のご協力をいただけるならば、平成 26 年 2 月までに終わらせる予定です。土地の相続、抵当権等の権利の状況により買い取り時期に差が出てしまうことをご了承ください。

いつ頃買い上げ価格を示してもらえるのか。

→ 秋頃には示せる予定です。

土地の買取価格やスケジュールの見通しがたたないと、再建意向を検討しづらい。また、完成までに時間がかかればかかる程、戻ってくる人が少なくなることを懸念している。どうして時間がかかっているのかを含めてしっかりと説明がほしい。

→ 4月以降、復興公営住宅の適地の探索や地権者様との交渉を優先しており、同時に被災した土地の買取作業を進めることができなかったことをお詫びいたします。

相続等で、権利が複雑な土地以外は、9月から順次、土地価格のご説明に伺い始め、地権者の方々のご協力のもと、2月迄に作業を終え、その後、復興公営住宅を平成26年度中に完成させる予定です。

遠くに離れている人にも資料を配布してもらえるのか。その時期は。

→ 今月中の発送を予定しています。

唐丹片岸の復興公営住宅6戸として計画を示してもらった。増えた場合の対応は考えているのか。7戸の場合、土地が狭くなるのか？いつまでも決まらないから人がどんどん出てしまう。

→ 6戸建設するのに必要な土地を確保している状況です。増えれば別の土地を手当てしていくことになります。6戸分については本日示した場所とご理解ください。

戸建ての支援金はいつまで有効なのか。

→ 基礎支援金は平成26年度中、加算支援金は平成30年度までになります。

事業が遅れている分、支援金の申請期間を延ばしてもらえないのか。

→ 万一、遅れた場合は、国に延期を要請したいと考えています。

小白浜の計画について知りたい。

→ 現在、仮設があるところとNTTの鉄塔があるところに、自力再建向けの宅地を整備予定です。公営住宅は応援センターの前の土地に計画中です。

小白浜の自立再建用の宅地整備スケジュールはどうなっているのか。

→ 現在、仮設住宅が建っている箇所と、NTTの鉄塔の傍で再建用の宅地を確保します。仮設住宅のない箇所より、具体の検討を行い、来年度中の工事着工と完成を目標にしています。

小白浜の計画戸数は？

→ 概ね15戸ずつ、30戸程度を予定しています。

小白浜地区は30戸で足りるのか。

→ 前回アンケートの結果で計画しています。今回のアンケートで再調整しますが、足りなければ追加で計画検討することになります。